



『こもろのひろば こぼれ話』



～郷土の事柄をわかりやすく紹介するコーナーです～

「地域の情報を収集して資料を作る」

地域の歴史を小学校の学区単位で紹介し、好評をいただいているこもろのひろばの企画展示「こもろ散歩」。4～5月は「千曲小学校 川辺地区」をテーマに紹介しました。

こもろのひろばで行う企画展示は、テーマが決まると、該当する資料の内容を読み解き、時には現地を訪れたりしながら、様々な角度から検証して内容をまとめていきます。ただ、小諸に関係する資料はもともと数が少なく、対象地域や事柄によってはほとんど資料がない場合もあり、調査が難航することも。そんな時、調査対象に問合せが可能な場合は、直接問い合わせをすることがあります。

今回、千曲小学校区を調べていく中で、学区内で特徴的なもののひとつに千曲川がありました。川といえば、橋、そして学校の目の前にある発電所。それぞれ資料をあたってみました。橋については、いくつか資料がみつかりましたが、小諸発電所については、歴史的な背景が分かる本はあったものの、発電所に関する詳しいデータ（発電量、発電方法など）がありませんでした。

そこで、小諸発電所を管理している東京電力リニューアブルパワー株式会社 千曲川事業所に問い合わせしてみました。すると、小諸発電所のための資料はないが、どんな情報を必要としているのかが分かれば、データを伝えることは可能との返事をいただきました。

そこで企画の概要と、必要としている情報をお伝えしたところ、数字データと共に、写真や水力発電の仕組みが書かれたイラストを提供して下さいました。写真の中には、改良工事前の西浦ダム（現在の西浦堰堤）の姿も。提供していただいた情報は印刷して登録し、企画展示場所に掲示。これでまた一つ地域に関する資料が増えました。

このように、図書館では、日ごろのレファレンスや企画展示に関係して得た新しい情報を、必要に応じて参考資料として登録し、調査研究の際の資料の一つにしてもらえるよう整備しています。今後も地域の方々や各種団体の協力もいただきながら、資料を充実させていきたいと思えます。

図書館は、本の貸出や保存の他に、資料や情報を収集するという大事な仕事があるのね。それを私たちにも読めるように整備してもらおうのは嬉しいな♪



こもろのひろばキャラクター
うめちゃん